

第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会 次 第

日時：平成28年9月7日(水) 14:00-16:30

場所：滋賀県庁北新館 3階中会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 説明・報告事項

- (1) 開催に向けた平成28年度の主な取組
- (2) 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会第4回常任委員会における決定事項

4. 審議事項

全国障害者スポーツ大会開催に向けた課題および国体との一体的な取組について

〈情報提供〉

- (1) 講演「全国障害者スポーツ大会と今後の動向」
日本障がい者スポーツ協会
スポーツ推進部 スポーツ推進課長 滝澤 幸孝 氏
- (2) 全国障害者スポーツ大会における滋賀県選手団の行程
- (3) 「全国障害者スポーツ大会の開・閉会式について」の佐賀県の調査結果

5. 閉会

全国障害者スポーツ大会専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

選出区分	機関・団体名および役職名	氏名	備考
1	滋賀県体育協会 競技力向上担当次長	今井 義尚	
2	滋賀県障害者スポーツ協会 主査	伊勢坊 美喜	
3	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会 副会長	原 陽一	副委員長
4	スポーツ関係 パラリンピアン (ロンドンパラリンピックセーリング競技日本代表選手)	西山 克哉	
5	パラリンピアン (リオデジャネイロパラリンピック視覚障害者マラソン女子日本代表選手)	近藤 寛子	
6	車椅子バスケットボール選手 (全国障害者スポーツ大会和歌山県選手団)	北田 千尋	
7	スペシャルオリンピックス日本・滋賀 評議員	高木 正二郎	
8	福祉関係 滋賀県社会福祉協議会 法人経営担当課長	奥村 昭	
9	滋賀県身体障害者福祉協会 副会長	藤本 俊治	
10	滋賀県手をつなぐ育成会 理事	小倉 繁昌	
11	滋賀県精神障害者家族連合会 理事	川並 正幸	
12	滋賀県視覚障害者福祉協会 事務局長	平岡 行雄	
13	滋賀県聴覚障害者福祉協会 事務局長	中西 久美子	
14	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長	中島 秀夫	
15	滋賀県立障害者福祉センター 副所長	小野 ゆかり	
16	学校関係 滋賀県立野洲養護学校 校長	重森 恵津子	今回より 就任
17	学識 経験者 立命館大学スポーツ健康科学部 准教授	永浜 明子	委員長
18	びわこ成蹊スポーツ大学 専任講師	河西 正博	
19	県関係 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 課長	市川 忠稔	今回より 就任

2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会

～ 開催に向けた平成28年度の主な取組 ～

国体・全スポ開催準備委員会

負担金 24,200千円

(1)各競技会場の選定

- ◆第2次選定については、3月開催の「総務企画専門委員会」において、体育館競技以外のマッチングが整った競技(2競技)について内定案を決定。
- ◆体育館競技のうちマッチングが整った競技について、7月6日に再度「総務企画専門委員会」を開催、内定案を決定のうえ、両者を併せて8月3日に開催の「常任委員会」に諮り決定。
- ◆第3次選定に向け、引き続き各市町・競技団体からの希望を基にマッチング作業を継続。

(2)競技役員等の養成

- ◆平成27年8月に決定した「競技役員等養成基本計画」に基づき、審判員等の資格が必要な役員等について、競技団体毎に養成計画を作成のうえ、養成事業を開始。
- ◆開催準備委員会から各競技団体に対して補助金を交付し、養成事業を支援。

(3)開催準備委員会における大会準備

- ◆国体・全スポの一体感ある開催に向けた方策を「開催基本構想」(H30策定予定)に反映するため、「全国障害者スポーツ大会専門委員会」において具体策の議論を開始。

(4)開催機運醸成に向けた取組

①国体・全スポマスコットキャラクターの検討

- ◆広報活動や募金活動への早期活用をめざし「広報・県民運動専門委員会」において“マスコットキャラクター”の検討に着手。
- ◆平成29年の開催準備委員会総会までに選定、以後の広報活動において活用。

②募金活動の展開

- ◆「募金趣意書」に基づき、寄附募集の取組を継続。
- ◆頂いた寄附金は、当面の間「滋賀県競技力向上対策本部」で実施する、スポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費に充当。
- ◆併せて、(仮称)彦根総合運動公園や、移転新築を行う新県立体育館などの施設整備に要する経費に充当。
- ◆寄附を通じて「滋賀のスポーツを応援」いただけるよう、県民・企業の皆さんに対して積極的に呼びかけを実施。

③子ども・若者参画特別委員会(ジュニア・ユースチーム)活動の展開

- ◆小学生～大学生世代の子どもや若者で構成する「ジュニア・ユースチーム」が、その柔軟な視点や発想を活かし、国体・全スポはもとより、広く県のスポーツ振興に関する課題等について調査研究。
- ◆第一期生(H26:「湖上スポーツ」)、第二期生(H27:「スポーツボランティア」)に引き続き、他県にはない『滋賀オリジナル』の取組として継続。

滋 賀 県

基金の積立て 等

28,462千円

- ◆大会の円滑な運営やスポーツ施設の整備、競技力の向上を図るため設置した「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金」に、企業や県民の皆様からいただいた寄付金を積立て。(H27年度末残高:約3,569百万円)

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
子ども・若者参画特別委員会の概要について
(ジュニア・ユースチーム)

1. 活動目的

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向け、将来、両大会に関わり、参加する子ども・若者の視点や考えを両大会の開催準備やスポーツ振興等に反映させるため、必要な調査・研究活動を行うことを目的とする。

2. 委員構成

県内に居住または通学・通勤する小学5年生から20歳代前半までの人を対象に25～30名程度で構成する。小学生、中学生、高校生世代、大学生世代から各6～8名程度とし、公募と学校推薦で委員を募集する。

3. 活動予定（テーマ「パラスポーツ」）

回	内 容		時期
1	結団式・仲間づくり活動・講話 (びわこ成蹊スポーツ大学)		8/26 (金)
2	体験・取材	車いすバスケットボール (県立障害者福祉センター)	9/19 (月・祝)
3	体験・取材	ゴールボール (守山市民交流センター)	11/6 (日)
4	見学・ボランティア	水泳記録会 (県立障害者福祉センター)	11/20 (日)
5	講話・討議	パラアスリートによる講話 (会場・講師未定)	11～12月頃
6	体験・取材	ボッチャ (会場未定)	12/3 (土)
7	討議	活動のまとめ (会場未定)	1月頃
8	討議	活動のまとめ、報告資料づくり (会場未定)	2月頃
9	活動報告会・解団式 (会場未定)		3月頃

H26年度「湖上スポーツ」 H27年度「スポーツボランティア」

**第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第 4 回常任委員会における決定事項について**

1. 開催期日・場所

平成 28 年 8 月 3 日（水） 琵琶湖ホテル（大津市）

2. 決定事項

（１）開催準備総合計画の改正を行いました。

- ・国体と全スポの開催準備総合計画を一部改正

（２）国体会場地の第二次内定を行いました。

- ・市町と競技団体のマッチングが成立した 12 競技の会場地を内定

（３）「広報基本計画」を決定しました。

- ・「広報・県民運動専門委員会」で（案）を審議いただいた「広報基本計画」を正式に決定

※第 4 回総会においては、特に決定事項はなし。

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備総合計画

平成27年(2015年)8月31日 定日
 第3回 常任委員会 会決
 平成28年(2016年)8月3日 正
 第4回 常任委員会 会改

年度	H25(2013) 11年前 東京	H26(2014) 10年前 長崎	H27(2015) 9年前 和歌山	H28(2016) 8年前 岩手	H29(2017) 7年前 愛媛	H30(2018) 6年前 福井	H31(2019) 5年前 茨城	H32(2020) 4年前 鹿児島	H33(2021) 3年前 三重	H34(2022) 2年前 栃木	H35(2023) 1年前 佐賀	H36(2024) 開催年	
主なスポーツ大会		国体近畿ブロック大会 (滋賀県開催)	全国高校総体 (近畿ブロック開催)				ラグビーワールドカップ	東京オリンピック・パラリンピック 国体近畿ブロック大会 (滋賀県開催)	関西ワールドマスターズ ゲームズ				
開催手続	開催内々定 開催要望書提出 (日体協・文科省へ)				実施競技選定	県議会決議 中央競技団体 正規視察	開催内定 開催申請書提出 (6月中)		開催決定・会期決定 日体協・文科省 総合視察		国体リハーサル大会	開催 全スポ大会リハーサル大会 全国代表者会議	
推進組織	全県組織	国体準備委員会 総会 常任委員会 専門委員会 (総務企画) (主会場選定) 特別委員会 (子ども・若者参画)	国体・全国障害者 スポーツ大会準備委員会 (広報・県民運動) (競技運営) (募金・協賛推進)	国体・全国障害者 スポーツ大会 (全国障害者 スポーツ大会)		(宿泊・衛生) (輸送・交通)	(式典・会場) (警備・消防)		国体・全国障害者 スポーツ大会実行委員会			解散	
	市町組織						市町準備委員会(任意設置)	市町実行委員会			市町競技会実施本部	解散	
総務企画 (主会場選定)	全体	開催基本方針 県・市町の業務分担・ 経費負担基本方針	開催準備総合計画 (第1次)	開催準備総合計画 (第2次)	開催基本構想 県・市町の業務分担・ 経費負担の細目	開催準備総合計画 (第3次)	開催準備総合計画 (第4次)					大会 報告書	
	会場地選定	会場地市町選定基本方針・ 基準、主会場選定基準 主会場の選定	会場地選定(正式競技・特別競技)		会場地選定(公開競技)	会場地選定(デモンストラーションスポーツ)							
	競技施設 (主会場選定)	競技施設基準(暫定)	競技施設基準		競技施設整備計画	競技施設(主会場その他の各会場地)の整備						リ ハ サ ル 大 会	
	情報通信						情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの整備、関係機関調整等			情報通信本部	
	文化プログラム						文化プログラム基本方針	文化プログラム実施 基本計画	文化プログラム実施要項	文化プログラム募集			
	総合案内							総合案内基本方針	歓迎・接伴計画の策定、総合案内所等の整備等				
	行幸啓等								行幸啓・御成り計画、警衛計画等			行幸啓本部 警衛本部	
広報・ 県民運動	広報		広報基本方針 広報基本計画 マスコットキャラクターの検討・選定		大会愛称、スローガンの募集・決定 開催内定イベント	ダンス、イメージソング 募集・決定	開催決定イベント	開催1年前イベント		広報活動の推進(広報誌・ポスター等の作成、インターネット・マスメディアを通じた広報等)			報道本部 全国報道者会議
	県民運動			県民運動基本方針 県民運動基本計画	県民運動(花いっぱい運動、クリーンアップ運動等)の推進								
競技運営	競技運営	競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画	公開競技実施基本方針	競技運営基本方針	デモスポ実施基本方針	リハ大会開催基準要項 記録業務基本方針	競技開催日程決定	競技役員等の養成					記録本部 総監督者会議
	競技用具		審判員・要資格運営員 養成計画	競技用具整備基本方針 競技用具整備要項 競技用具の整備									
宿泊・衛生	宿泊			宿泊基本方針 宿泊基礎調査	宿泊基本計画 宿泊施設実態調査	配宿計画・調整等		標準献立作成方針	標準献立表の作成、講習会の開催等			宿泊本部	
	衛生			医事衛生基本方針	医事衛生基本計画	医療救護、食品衛生対策、環境衛生対策、防疫対策、馬事衛生対策等の実施						救護本部	
輸送・交通				輸送交通基礎調査 輸送交通基本方針	輸送交通基本計画	全国・会場地・開閉会式会場輸送計画等						馬事衛生対策本部 輸送本部	
式典・会場					式典基本方針	式典基本計画	式典実施計画 会場管理基本方針	式典実施要綱等 会場管理基本計画 会場装飾、案内標識設置等				式典本部	
警備・消防					警備・消防防災 基本方針	警備・消防防災 基本計画	業務指針・マニュアル等作成、関係機関調整等					警備本部 消防防災本部	
全国障害者スポーツ大会			全スポ大会開催に向けた課題の整理	国体との一体的な開催に向けた構想の検討	会場地選定基本方針 会場地選定(正式競技)	オープン競技実施基本方針	会場地選定(オープン競技)	競技用具整備					全スポ大会実施本部
募金・協賛		募金推進要綱 募金推進計画	募金活動の推進				募金・協賛推進要綱 募金・協賛推進計画	募金・協賛活動の推進					
子ども・若者参画		子どもや若者(ジュニアユースチーム)による国体・全国障害者スポーツ大会を含む県のスポーツ振興に関する調査研究等											
【参考】競技力向上(対策本部)		競技力向上基本計画 競技力向上対策本部		基本計画見直し					基本計画見直し				

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会

平成28年(2016年)8月3日
第4回常任委員会決定

第79回国民体育大会 会場地市町第二次内定

番号	競技名(種目)		市町名	種別	開催予定施設
1	サッカー		東近江市	成年男子	布引運動公園陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド
			大津市	女子	皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド びわこ成蹊スポーツ大学陸上フィールド
			守山市	少年男子	野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)
2	テニス		大津市	全種別	大石緑地スポーツ村テニスコート
3	ボート		大津市	全種別	滋賀県立琵琶湖漕艇場
4	バレーボール		草津市	成年男子 成年女子	草津市立総合体育館 野村公園体育館
			近江八幡市	少年男子	近江八幡市立運動公園体育館
			守山市	少年女子	守山市民体育館
5	体操	競技	大津市	全種別	新県立体育館
		新体操	大津市	少年女子	新県立体育館
6	バスケットボール		大津市	成年男子 少年男子	新県立体育館
			草津市	少年女子	野村公園体育館
			野洲市	成年女子	野洲市総合体育館
7	レスリング		栗東市	全種別	栗東市民体育館
8	卓球		野洲市	全種別	野洲市総合体育館
9	柔道		長浜市	全種別	木之本運動広場体育館

番号	競技名(種目)	市町名	種別	開催予定施設
10	ソフトボール	東近江市	成年男子	布引運動公園多目的グラウンド
		高島市	成年女子	今津総合運動公園第2グラウンド
		草津市	少年男子	野村公園グラウンド
		守山市	少年女子	守山市民運動公園ソフトボール場・市民スポーツ広場
11	バドミントン	大津市	全種別	新県立体育館
12	空手道	大津市	全種別	ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)

- 注) 1 実施競技については、4年ごとに日本体育協会で見直しが行われており、滋賀県が開催する第79回大会の選定は平成29年度初旬の見込みであり、日本体育協会の実施競技の選定動向によっては、再調整が必要となる場合がある。
- 2 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

各競技会場の選定状況について

○内定済み …… 6競技

○第二次内定 (8月3日) …… 12競技
 (サッカー、テニス、ボート、バレーボール、体操(競技、新体操)、バスケットボール、レスリング、卓球、柔道、ソフトボール、バドミントン、空手道)

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市	(仮称)彦根総合運動公園陸上競技場	全種別	大津市
2	水泳	競泳					彦根市
		シンクロ					—
		水球					長浜市
		飛込					彦根市
3	サッカー	②H28.8.3	東近江市	布引運動公園陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場 総合グラウンド	成年男	水口町、甲西町	
			大津市	皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド びわこ成蹊スポーツ大学陸上 フィールド	女子		
			守山市	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	少年男		
4	テニス		②H28.8.3	大津市	大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別	彦根市
5	ボート		②H28.8.3	大津市	滋賀県立琵琶湖漕艇場	全種別	大津市
6	ホッケー						伊吹町
7	ボクシング						能登川町
8	バレーボール	②H28.8.3	草津市	草津市立総合体育館 野村公園体育館	成年男 成年女	近江八幡市、守山市	
			近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	少年男		
			守山市	守山市民体育館	少年女		
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	全種別	栗東町
		新体操	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	少年女	—
10	バスケットボール	②H28.8.3	大津市	新県立体育館	成年男 少年男	大津市	
			野洲市	野洲市総合体育館	成年女		
			草津市	野村公園体育館	少年女		

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市	栗東市民体育館	全種別	甲賀町、信楽町
12	セーリング						大津市
13	ウエイトリフティング						安曇川町
14	ハンドボール						彦根市
15	自転車	トラック					大津市
		ロード					八日市市、蒲生町、日野町、永源寺町、愛東町、湖東町
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市	長浜市民庭球場	全種別	長浜市
17	卓球		②H28.8.3	野洲市	野洲市総合体育館	全種別	草津市
18	軟式野球						近江八幡市、守山市
19	相撲		①H27.8.31	長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	全種別	日野町
20	馬術						栗東町
21	柔道		②H28.8.3	長浜市	木之本運動広場体育館	全種別	木之本町
22	ソフトボール		②H28.8.3	東近江市	布引運動公園多目的グラウンド	成年男	草津市、八日市市
				高島市	今津総合運動公園第2グラウンド	成年女	
				草津市	野村公園グラウンド	少年男	
				守山市	守山市民運動公園ソフトボール場・市民スポーツ広場	少年女	
23	フェンシング						五個荘町
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市	新県立体育館	全種別	大津市
25	弓道						長浜市
26	ライフル 射撃	センター・ファイア・ピストル					大津市
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南市	湖南市総合体育館	全種別	今津町
28	山岳	リード					高島町、志賀町、朽木村
		ボルダリング					
29	ラグビーフットボール						野洲町
30	カヌー	スプリント					大津市
		スラローム・ワイルドウォーター					
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町	愛荘町スポーツセンター 秦荘グラウンド	全種別	秦荘町
32	空手道		②H28.8.3	大津市	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別	湖東町

No	競技名		第79回国体 会場地				(参考) びわこ国体会場地
			内定時期	市町名	施設名	種別	市町村名
33	銃剣道 (隔年開催)						今津町
34	クレール射撃 (隔年開催)						信楽町
35	なぎなた						—
36	ボウリング						—
37	ゴルフ						—
38	トライアスロン						—
39	高等学校 野球	硬式	①H27.8.31	大津市	皇子山総合運動公園野球場	—	大津市
		軟式					彦根市

注) 1 実施競技については、4年ごとに日本体育協会で見直しが行われており、滋賀県が開催する第79回大会の選定は平成29年度初旬の見込み。日本体育協会の実施競技の選定動向によっては、再調整が必要となる場合がある。

2 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

会場地市町第一次内定・第二次内定 配置図

主会場決定 (平成26年5月26日)
第一次内定 (平成27年8月31日)
第二次内定 (平成28年8月3日)

高島市 (1競技)
ソフトボール

長浜市 (3競技)
ソフトテニス、相撲、
柔道

彦根市 (1競技)
陸上競技

愛荘町 (1競技)
アーチェリー

大津市 (8競技)
テニス、サッカー、ボート、
体操、バスケットボール、
バドミントン、空手道、
高校野球(硬式)

東近江市 (2競技)
サッカー、ソフトボール

近江八幡市 (1競技)
バレーボール

草津市 (3競技)
バレーボール、
バスケットボール、
ソフトボール

野洲市 (2競技)
バスケットボール、
卓球

守山市 (3競技)
サッカー、バレーボール、
ソフトボール

栗東市 (1競技)
レスリング

湖南市 (1競技)
剣道

※ゴシック体は、第二次内定の競技

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」と総称する。）に向けて、第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 目的

大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加でつくる大会につなげるとともに、滋賀や大会の魅力を全国に発信することを目的とする。

2 広報の手法

（1）愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を策定し、普及する。

- ①愛称・スローガンの制定および普及
- ②マスコットキャラクターの制定および普及
- ③イメージソング・ダンス等の制定および普及

（2）各種広報物品による広報

各種広報物品の作成や既存の広報誌等を活用した、積極的な広報活動を展開する。

- ①大会広報誌の発行
- ②ポスターの作成
- ③パンフレット、リーフレット、ちらしの作成
- ④広報グッズの作成
- ⑤各種ガイドブックの作成

（3）多様なメディアによる広報

報道機関との連携およびインターネットなど多様なメディアにより、広域的かつ効果的な広報活動の展開を図る。

- ①新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- ②県や市町、各種団体等の広報媒体の活用
- ③専用ホームページの開設やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画共有サイト等のソーシャルメディアの活用

(4) イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベントや事業と連携した広報活動を実施する。

- ①開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- ②県や市町、各種団体等が主催するイベントにおけるPR活動等の実施
- ③「しがスポーツ大使」の参加するイベントとのタイアップ
- ④「子ども・若者参画特別委員会(通称：ジュニア・ユースチーム)」との連携
- ⑤出前講座を活用した広報

(5) 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- ①のぼり、横断幕、懸垂幕の設置
- ②歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- ③広報看板、カウントダウンボード等の設置

(6) 映像等による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

- ①先催県の大会映像等(DVD等)の貸出
- ②広報用映像の制作およびインターネット等での公開

(7) 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- ①記録映像の制作
- ②記録写真集の制作

(8) 参加章等の作成

大会の開催を記念し、大会参加章や記念章を作成する。

(9) その他広報

その他、広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

3 活動展開の指針

(1) わかりやすい広報

見る側や聞く側など、受け手に配慮した、誰にでも伝わるわかりやすい広報に努める。

(2) 媒体の特性に応じた広報

それぞれの広報媒体の強みを活かした広報に努める。

(3) 状況に応じた広報

時間や場所、タイミングに配慮した広報を実施するとともに、その時々で最も効果的な広報媒体による情報発信に努める。

(4) さまざまな主体との連携・協働

県民総参加でつくる大会に向け、大会の広報についても、県内の多様な主体と連携・協働のもとに展開する。

(5) 募金活動との連携

募金活動における取組とも連携して広報活動を実施し、相乗的な効果を生み出せるように努める。

(6) 大会後につながる広報

大会に向けた広報はもちろん、大会終了後も多くの方々が滋賀県を訪れていたように、滋賀の持つ魅力の発信にも努める。

(7) 受け手の声を反映する広報

広報活動を実施する際に、できる限り受け手の声を取り入れ、今後の広報活動や大会運営にも活かすよう努める。

4 構成員の役割

開催準備委員会の構成員は、各々の特性に応じた広報活動を行うとともに、互いに連携・協働しながら大会や滋賀の魅力を発信するよう努める。

5 基本計画の進行管理

基本計画については、取組の進捗状況等を「広報・県民運動専門委員会」において毎年検証するとともに、必要があるときは、開催準備委員会の常任委員会の議決を経て変更する。

全体スケジュール

	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
				開催内定		開催決定		リハ-ル大会	開催
方針・計画	広報計画基本	基県本民方運動	基県本民計運動						
大会愛称・スローガン等による広報	マスコットキャラクターの選定 (H29年度に決定、第5回総会で報告)		大会愛称・スローガンの募集・決定		イメージソング・ダンス等の募集・決定				
各種広報物品による広報	ポスターやちらし、パンフレット、リーフレット、広報グッズの作成								
	大会広報誌の発行								
	各種ガイドブックの作成								
多様なメディアによる広報	新聞、ラジオ、テレビ、インターネット等による広報活動の推進 県や市町、各種団体等の広報媒体の活用 ソーシャルメディアの活用								
	県ホームページでの情報発信			専用ホームページの開設					

	H28 (2016) 8年前	H29 (2017) 7年前	H30 (2018) 6年前	H31 (2019) 5年前	H32 (2020) 4年前	H33 (2021) 3年前	H34 (2022) 2年前	H35 (2023) 1年前	H36 (2024) -
				開催内定		開催決定		リハ-ル大会	開催
イベントによる広報				開催内定イベント		開催決定イベント		開催1年前イベント	開催直前イベント
	各主体が主催するイベント等における広報活動、「しがスポーツ大使」の参加イベントとのタイアップ、「子ども・若者参画特別委員会」との連携、出前講座を活用した広報								
屋外広告物による広報	のぼり、横断幕、懸垂幕の設置								
	広報看板、カウンタダウンボード等の設置								
	歓迎塔、歓迎アーチ等の設置								
映像等による広報	先催県の大会映像等の貸出								
	広報用映像の制作およびインターネット等での公開								
記録映像等の制作									大会記録映像や記録写真真集の制作(大会後)
参加章等の作成								参加章、記念章の作成	

全国障害者スポーツ大会における滋賀県選手団の行程

紀の国わかやま大会 全 6 日間 H27/10/22(木)～10/27(火)

	時刻	内容	備考
10/22(木) 1 日目 結団式	11:00～	◆ 結団・壮行式 (約 30 分間)	※宿泊は競技別に 3 施設に分宿
	11:45～	◆出発 (約 60 名、バス 2 台)	
	14:30～15:55	◆宿舎到着	
	18:00～ 22:30～	◆夕食・ミーティング・翌日の準備 ◆就寝	
10/23(金) 2 日目 公式練習	06:30～08:30	◆朝食 (時間は競技ごと)	※公式練習は、本番の競技会場で 行われる。
	07:45～09:05	◆宿舎出発	
	08:30～10:05	◆会場到着	
	09:00～12:15	◆ 公式練習	
	10:00～13:00	◆ 全国代表者会議・競技監督会議	
	14:00～14:30	◆会場出発	
	14:45～15:15	◆宿舎到着	
	～17:45 18:00～ 22:30～	◆入浴 ◆夕食・ミーティング・翌日の準備 ◆就寝	
10/24(土) 3 日目 開会式 & 競技会 第 1 日	05:15～07:00	◆朝食	※開会式 ・オープニングプログラム ・選手団入場行進 ・式典 ・エンディングプログラム ※原則、計画輸送バスでの移動に なるため、選手団は競技終了後 も会場に滞在することになる。
	06:05～07:45	◆宿舎出発	
	07:10～08:10	◆開会式会場到着	
	08:40～11:53	◆ 開会式 (拘束時間約 2.5 時間)	
	10:30～18:50	◆ 開始式・競技会	
	17:35～19:50	◆会場出発	
	18:20～20:25	◆宿舎到着	
	19:00～21:10 19:45～22:30 22:30～	◆夕食 ◆ミーティング・入浴・翌日の準備 ◆就寝	
10/25(日) 4 日目 競技会 第 2 日	05:15～07:30	◆朝食	
	06:10～08:15	◆宿舎出発	
	07:15～09:00	◆会場到着	
	09:00～18:50	◆ 競技会・終了式	
	16:25～19:50	◆会場出発	
	17:10～20:25	◆宿舎到着	
	18:00～21:10 18:45～22:30 22:30～	◆夕食 ◆ミーティング・入浴・翌日の準備 ◆就寝	

	時刻	内容	備考
10/26(月) 5日目 競技会 第3日 & 閉会式	05:15～09:15	◆朝食	※閉会式 ・オープニングプログラム ・式典 ・ファイナルステージ
	06:10～08:15	◆宿舎出発（出場がある競技）	
	09:40～09:55	◆宿舎出発（出場がない競技）	
	07:15～09:00	◆会場到着	
	09:00～12:23	◆ 競技会	
	12:30～	◆会場出発	
	11:00～14:20	◆閉会式場到着	
	15:00～17:00	◆ 閉会式 （拘束時間約1.5時間）	
	17:10～	◆会場出発	
	17:45～18:40	◆宿舎到着	
	19:00～20:30	◆成績発表・夕食	
20:30～23:00	◆入浴・翌日の準備		
23:00～	◆就寝		
10/27(火) 6日目 解団式	07:30～09:00	◆朝食	
	09:30～11:10	◆宿舎出発	
	14:00	◆会場到着	
	14:15～14:45	◆ 解団式 （約30分間）	

全国障害者スポーツ大会の開・閉会式についての 佐賀県調査の結果

(H28. 5～6 月調査)

調査について

佐賀県が平成 35 年に開催する全国障害者スポーツ大会の開・閉会式の会場地選定の参考資料とするために、全国障害者スポーツ大会に参加する都道府県および政令指定都市に対して調査した。

回答総数 63 (44 都道府県、19 政令指定都市)

Q 1 開・閉会式で開催都道府県の特徴や独自色を感じていますか。

選択肢	回答数
強く感じている	11
やや感じている	30
あまり感じていない	22
全く感じていない	0

Q 2 開・閉会式で最も印象に残った都道府県はどこですか。また、どのような点が印象に残っていますか。(複数回答可)

開催地	回答数	内容
和歌山	19	・和歌山の偉人や歴史等を織り交ぜた和歌山ならではの演出。 ・県産木材の観客席の桧の香りが印象的。
千葉	5	・屋内開催で、暑さ、寒さを感じず快適。 ・ディズニーのキャラクターの登場。
長崎	5	・長崎ゆかりの曲をアレンジした曲での入場行進。 ・原爆被害を題材とした演目が印象的。
東京	4	・オリンピック・パラリンピックをイメージさせる式典。 ・演技者を吊して空間を利用したワイヤーアクション。
大分	2	・西城秀樹のパフォーマンス。 ・集団演技と南こうせつの歌が印象的。
岐阜	2	・清流をモチーフにした演目。
兵庫、静岡 高知、山形	1	・ご当地の偉人をPRしている点が印象的。 ・兵庫の震災復興を表現したアトラクション。

<参考：開催年>

H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山

兵庫 (H18)、静岡 (H15)、高知 (H14)、山形 (H4)

Q3 これまでの開・閉会式について、参加した役員・選手団から何か意見が寄せられていますか。

項目	回答数	主な意見
入場までの待ち時間	25	◆待ち時間が長い◆待機場所からトイレが遠い◆車いす用トイレが混み合う◆寒さ対策の毛布から熱中症（水分補給）まで寒暖に対する対策が必要◆下肢障害者の長時間直立は辛い◆待機時に会場内の様子が分からない◆障害者は体力的に弱いため、入場前の演舞は短めをお願いしたい◆セキュリティー体制が厳しすぎる
入場行進	8	◆日程の都合で参加出来ない競技がある◆行進は選手の感動や励みとなるため、全員行進を要望◆入場時に直立で待つのが辛い◆全員行進でないと不公平感がある◆雨天対策で雨具の配布や早目の室内開催判断を要望◆選手団の人数制限があるが、多くの選手が参加できるよう要望
式典内容	5	◆大音量・光・花火等の演出が、選手の発作を誘発した◆閉会式の歌手の登場はものすごく楽しみにしている◆手話を用いてのパフォーマンス（開催県不明）がよかった

Q4 開・閉会式について、気づきや改善点等あれば自由にご記入ください。

主な意見

- ・選手の負担は軽減したい。
- ・開会式は例年炎天下で行うことが多いが日よけがない。また、入場にはペットボトルの持込は禁止される。水分補給を含め熱中症対策が必要。
- ・式典演舞が来賓席向けに演じられており、反対側の客席からは何も分からケースがあったので、全ての客席を意識した演出にしてほしい。
- ・閉会式は選手の疲労が蓄積していることに加えて夕方の実施は寒い。可能な限り拘束時間は短いほうが良い。
- ・各会場で開会式の様子を流すような工夫もできればより良い。
- ・入場行進時は撮影禁止となっているが、閉会式では撮影が許可されればと思う。
- ・可能であれば天候等に左右されない屋内会場での開・閉会式を積極的に導入してほしい。（千葉：幕張メッセ、大分：屋根付き陸上競技場）
- ・和歌山県の開閉会式会場周辺のブースでは特産品の出展が多くあったため、開閉会式が始まるまでの待ち時間も有意義に過ごすことができた。
- ・3日間の大会日程でスケジュールも過密なため選手の体調が毎年心配される。

全国障害者スポーツ大会についてのこれまでの主な意見

1. スポーツ振興全般

(1) 障害者のスポーツ参加の促進

- ・大会参加者の多くは軽度障害者。重度障害者向けの取組が必要。
- ・重度の知的障害者がスポーツに関わっていない。
- ・障害者の余暇支援の中でスポーツに接する機会がない。

(2) 障害者と健常者が一緒に行うスポーツ活動の推進

- ・県スポーツフェスタ等の充実。(回数、地域)
- ・障害者スポーツと健常者スポーツに垣根がある。主管が分かれていることが多い。

(3) 障害者のスポーツ活動支援者の養成

- ・特別支援学校職員以外の一般の指導者養成が必要。
- ・ボランティアの養成。(手話通訳者等)

2. 開催準備活動

(1) 国体との一体的な取組

- ・国体出場選手の全スポ運営への協力。
- ・国体総合開会式への全スポ選手の参加。
- ・国体も全スポも影が薄い。メディア戦略が必要。
- ・ボランティアの養成。

(2) 運営面での工夫

- ・来場した障害者用の「逃げ込みブース(休憩所)」の設置。
- ・選手と子どもが手をつないで入場するなど、子どもに夢を与えられる工夫。
- ・来場した子どもは見ていただけはとても苦痛。参加型イベントの要素があるとよい。
- ・聴覚障害者は手話ができる方とだけの交流で、多様な交流ができない。

(3) その他

- ・滋賀県特有の水辺を活かしたオープン競技の実施。